



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2014.6月号



平成26年度
幼児向け番組

ちきゅうをさがせ

ある日、ポコポコ星のかがかくしゃがわく星をかんそくしていると、たいようという星のまえをわく星がとおるのをはっけんしました。たいようけいのちきゅうという星をさがしにしゅつぱつします。ちきゅうはみつかるかな？



親子ほしぞらタイム



7月12日（土）までの期間中、毎週土曜日の午前11時の回は、プラネタリウムで幼児向け番組「ちきゅうをさがせ」を投影しています。ぜひ多くのお子さんたちにプラネタリウムを見てほしい！そしてお母さんお父さんにも一緒に楽しんでほしい！という想いから、小学生以下のお子さんと一緒に幼児向け投影をご覧になるお母さんのお父さんの観覧料が無料になる「親子ほしぞらタイム」をはじめました。幼児向け投影では、お子さんが「泣いてしまうかも・・・」「さわがしくしてしまうかも・・・」という心配はいりません☆ぜひこの機会に、親子でプラネタリウムを楽しんでください！

《対象日》



6/14、6/21、6/28、7/5、7/12 それぞれ11時の回

6月の寄贈品コーナー 天体観察会 30年—星空をながめつづけて— 6月14日(土)～7月13日(日)

博物館の天体観察会、30年の歩みを展示します。

「天体観察会」は、1983年4月に星や宇宙に関心のある中学生、高校生を中心にした天体観察を体験する会として始まりました。土屋にある七国荘で流星群など天文現象の宿泊観測や、惑星やほうき星などの天体の勉強会、日食、月食の観察、スターウォッチング調査、星を見る会の手伝い、そして特別展の準備協力など、興味深い天文分野の活動を楽しんできました。

展示では30年の様々な活動を通して積み重ねてきた成果、制作した模型、スターウォッチング調査記録、中高生だった仲間たちがいつの間にか中高年になった今の声などを紹介します。



1980年、「望遠鏡の鏡をみがこう」で一生懸命に鏡を研磨する中学生、高校生たち



2003年特別展「火星大接近 2003」で、火星の地形模型を製作したメンバー

夏期特別展プレイベント 宇宙人を描こう



どこかの星にいきものがあるとしたら、どんなすがたをしているのでしょうか？

いきものの形にはそれぞれ理由があります。あの有名なタコ型火星人も、あのすがたをしているのはわけがあるのです。あつい星にさむい星、海しかない星…地球とはちがう星にすむいきものを、みんなで想像して描いてみましょう。

みなさんが描いた絵は、夏期特別展「ぼくたちはひとりぼっち？ ～地球の外に生命を探して」で展示させていただきます。だれも描いたことのない宇宙人を、みなさんと描いてみましょう！

☆日時：7月5日(土) 午後3時30分～午後5時

☆場所：博物館 講堂

☆対象：小・中学生(幼稚園児は保護者同伴で可)

☆申込：往復はがきに氏名・学年・住所・電話番号を記入し、博物館まで申込。6月22日(日) 当日消印有効。

☆定員：20人(応募多数時抽選)



春期特別展『水と生きる里 ^{かなめ} 金目の風土とその魅力』を終えて

春期特別展「水と生きる里 金目の風土とその魅力」が去る5月11日に閉幕しました。本特別展は金目地区で活動されている「エコミュージアム金目まるごと博物館（金目エコ）」との共催というコラボレーション型の企画で、18回に及ぶ博物館と金目エコとの会議を開くなど1年以上の準備期間をかけて開催されました。その結果、歴史・自然・文化・産業という博物館のカバーする分野も超えた地域密着型の展示・行事を行うことができました。コラボすることで、博物館だけでは、金目エコだけではできない企画ができたと思います。



「金目の『食』を味わおう」の料理



「生き物観察会」で捕まえた生き物を観察する子どもたち

また、期間中、たくさんの関連行事を開催しました。ここで、そのいくつかを報告をしたいと思います。

3月29日の「金目ウォーク」では、金目地区北部の史跡をガイドボランティアの方の方案内で歩きました。参加者の方々は足で金目の歴史を知ることができたと思います。4月12日の「金目の『食』を味わおう」では、農家の主婦の方にご協力をいただき、金目で採れた食材で作った料理を味わいました。参加者の方々は素材の味わいをいかした手作り料理に大満足で、金目の豊かさを舌で理解されたことと思います。4月20日の「生き物観察会」では北金目の用水路でヨシノボリやドジョウ、ヤマトヌマエビなどさまざまな生き物を網ですくって観察しました。参加した子どもたちは網でつかまえた生き物に大興奮でした。

そのほかの関連行事もみな好評のうちに無事、終わることができました。今回の展示・行事にご協力、ご参加いただいたすべての皆様、金目エコの皆さまに感謝申し上げます。この企画が地域を見直し、地域を楽しむ、地域づくりへのきっかけになることを願ってやみません。

なお、本特別展の展示物の一部は、博物館2階情報コーナーで展示しています。また、金目公民館でも8月15日まで展示しています。

博物館こどもフェスタ 2014 盛況のうちに閉幕

5月6日（火・振休）のゴールデンウィーク最終日、今年で9回目を迎えた「こどもフェスタ 2014」が開催されました。肌寒い1日でしたが、1923名もの方にご参加をいただきました。誠にありがとうございました。サークル会員の方々や市民の皆さんのご協力で、おかげさまで今年も気軽に楽しめる様々な企画が並び、家族や友達同士でイベントを堪能する光景があちこちで見られました。その一部をご紹介します。



どんぶりクラフトづくり



古代生活体験「火起こし」



太陽黒点を見よう

燻蒸（くんじょう）作業のため、休館します 【期間】6月3日（火）～13日（金）

博物館が所蔵する資料は、地域の記憶を伝え、地域のこれからを考えるための大切な財産です。

この資料を虫やカビの害から守るために、定期的に「燻蒸」という作業を行なっています。

これにともない、6月3日（火）から13日（金）までの期間を休館とさせていただきます。

休館中、館内への立入はできませんが、電話やメールでのお問い合わせには応じることができます。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



6月

1	日	◎館長の星空解説 いつもの星空	プラネタリウム室	☆	
2	月		燻蒸休館		
3	火		燻蒸休館		
4	水		燻蒸休館		
5	木		燻蒸休館		
6	金		燻蒸休館		
7	土		燻蒸休館		
8	日		燻蒸休館		
9	月		燻蒸休館		
10	火		燻蒸休館		
11	水		燻蒸休館		
12	木		燻蒸休館		
13	金		燻蒸休館		
14	土			☆	
15	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室		
		◎ろばたばなし	相模の家	☆	
		◎星空と音楽の夕べ	プラネタリウム室		
		天体観察会 勉強会	講堂		
16	月		休館日		
17	火	天体観察会 (太陽勉強会)	特別研究室		
18	水	裏打ちの会	科学教室		
		民俗探訪会	特別研究室		
19	木	古代生活実験室	科学教室		
		展示解説ボランティア	講堂		
		石仏を調べる会	特別研究室		
20	金	古文書講読会	講堂		
21	土	東国史跡踏査団	講堂		
		星まつりを調べる会	科学教室	☆	
		地域史研究ゼミ	特別研究室		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
22	日	相模川の生い立ちを探る会	科学教室	☆	
		天体観察会 (流星分科会)	特別研究室・プラネ		
23	月		休館日		
24	火				
25	水				
26	木	石仏を調べる会	特別研究室		
27	金	古文書講読会	講堂		
28	土	地球科学講座	講堂	☆	
		お囃子研究会	講堂		
29	日	◎スターウォッチング入門講座	講堂	☆	
30	月		休館日		

ポスト特別展「水と生きる里 金目の風土とその魅力」
 プラネタリウム一般投影「太陽と星の動き」(6/14〜7/13)
 寄贈品コーナー「天体観察会30年」(6/14〜7/13)

【夏期特別展関連行事】

○イベント「宇宙人を描こう」

日時：7月5日(土) 午後3時30分～午後5時 場所：講堂
 対象：小・中学生(幼稚園児も可) 定員：20人 応募多数時抽選
 参加：往復はがきに氏名・学年・住所・電話番号を書いて
 6月22日(日) 消印有効で申し込む。

【プラネタリウム】 観覧料：200円 (18歳未満・65歳以上無料)

☆プラネタリウム一般向け番組「太陽と星の動き」

投影日：6月14日(土)～7月13日(日)の土・日曜日

時間：午前11時、午後2時 ※土曜日11時の回を除く

☆プラネタリウム幼児向け投影「ちきゅうをさがせ」(未就学児向け)

投影日：～7月12日(土)の土曜日午前11時

(親子ほしぞらタイムを実施! 詳しくは表紙参照。)

☆星空と音楽の夕べ

投影日：6月15日(日) 午後4時

【寄贈品コーナー】

◎「天体観察会30年」

会期：6月14日(土)～7月13日(日)まで

会場：1階寄贈品コーナー

7月

1	火				
2	水				
3	木	展示解説ボランティア	講堂		
4	金	聞き書きの会	特別研究室		
		古文書講読会	講堂		
5	土	東国史跡踏査団	野外・講堂	☆	
		◎特別展プレ「地球外生命を描こう」	講堂		
6	日			☆	
7	月				
8	火				
9	水				
10	木	古代生活実験室	科学教室		
		石仏を調べる会	特別研究室		
11	金	お囃子研究会	講堂		
		古文書講読会	講堂		
12	土			☆	
13	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆	
14	月				
15	火	天体観察会 (太陽勉強会)	特別研究室		
16	水	裏打ちの会	科学教室		
		民俗探訪会	大磯町		
17	木	展示解説ボランティア	講堂		
18	金	古文書講読会	講堂		
19	土	星まつりを調べる会	科学教室		
		◎特別展展示解説	特別展示室	☆	
		天体観察会	講堂・屋上		
		地域史研究ゼミ	特別研究室		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
20	日	◎ろばたばなし	相模の家	☆	
		相模川の生い立ちを探る会	野外・科学教室		
		◎星空と音楽の夕べ	プラネタリウム室		
21	月	祝日開館			
22	火		休館日		
23	水			☆	
24	木	石仏を調べる会	特別研究室		
		◎星を見る会	科学教室・屋上	☆	
		◎夏休み入門講座「貝化石を調べよう」	科学教室		
25	金	古文書講読会	講堂		
26	土	お囃子研究会	講堂	☆	
27	日	◎体験学習「縄文人になろう」	科学教室	☆	
		◎自然教室	屋外		
		◎連続講座「アストロバイオロジー入門」①	講堂		
28	月		休館日		
29	火	◎体験学習「生命の元・DNAを取り出そう」	科学教室		
30	水			☆	
31	木			☆	

プラネタリウム一般投影「太陽と星の動き」
 寄贈品コーナー「天体観察会30年」

プラネタリウム一般投影「バンデカンパの夢」(7/16〜8/17)
 寄贈品コーナー「平塚空襲展」(7/16〜8/17)
 夏期特別展「ほくたちはひとりぼっち」(7/19〜9/7)

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

【情報コーナー】

◎「ポスト特別展 水と生きる里 金目の風土とその魅力」

会期：5月17日(土)～ 会場：2階情報コーナー

【自由参加の行事】

◎ろばたばなし

内容：民家のいろりばたで昔話を語ります。

日時：6月15日(日) (1)午後1時20分 (2)午後3時

場所：1階「相模の家」 参加：自由

◎スターウォッチング入門講座 第2回「夏」

内容：星空をちょっと眺めたいなという人や、これから星を見始めたい人のための入門講座です。天の川を見るのにオススメな場所や流星群の眺め方も紹介(第2回からでも参加可能です)。

日時：6月29日(日) 午後3時30分～午後5時

場所：講堂 参加：自由

あなたと博物館 42巻3号 通算450号 発行 平塚市博物館 2100

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/